

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	228	学校名	仙台市立蒲町中学校	校長名	飯淵 優
------	-----	-----	-----------	-----	------

## (1) 取組のタイトル

「校内外での緑化活動を通して、SDGs への理解を深める」



## (2) 取組の紹介

- 本校では、アルカス委員の生徒を中心に全学年にボランティアを募り、春と秋の年2回、花植えを行ってきました。しかし今年度は校舎改築のため、校内の花壇が利用できないため、草取りや花壇整備を中心に活動し、プレハブ校舎の昇降口と限られたスペースにプランターを設置しました。プランターは、運搬用に使われていたプラスチック製のボックスを活用しました。植え方については生徒たちが考え、花の特性に合わせて素敵な配色でプランターを彩りました。特別支援学級の生徒たちにも協力してもらい、本校が担当する地域の花壇に花植えと管理をすることで、地域の方々と触れ合う良い機会にもなりました。
- 本校では、春と秋の年2回、小中連携で季節の花苗を購入し同時期に花植えを行っています。小中の教員間で花の植え方や維持の仕方など情報交換を行うこともありました。今年度は、限られたスペースでどんな緑化活動ができるのか、生徒と考えるよい機会にもなりました。今後、生徒や地域の方と関わられるような花壇になるにはどうしたらよいか、また、どのような工夫をしていくことで緑化活動が発展していくのかなどについてボランティアの生徒たちと考えていきたいと思えます。



## (3) 取組の成果 (生徒の変容)

アルカス委員を中心とした花植えのボランティアに参加する生徒が1, 2年生を中心に年々増えていることから、ボランティアに対する関心がさらに高まっているように感じています。本校の技師のアドバイスで追肥をしたり、チューリップの球根を保管して植えたりするなど花の特性にも興味を示しながら、配色や配置を生徒同士で話し合いながら取り組む姿が多く見られました。

諸活動や授業に関連する内容を学習することで、SDGsのロゴマークの内容や具体的な活動に関して、少しずつ生徒の関心が高まってきたように感じます。前述の緑化活動のみならず他の領域とも連携して学習内容を工夫することにより、生徒一人ひとりがSDGsについての認識や理解がもっと広まるように、今後も活動を継続していきたいと考えています。